

教室の後ろに出来たドリンクコーナー？皆さん、独自のボトルを持参して暑さ対策！

6月に入り、急激に気温が上がり始め、実習生の皆さんから、「あついです」という言葉が聞こえてくる季節になってきました。気温が高くなりだすと、心配になってくるのが、「食中毒」「熱中症」等です。つい1~2ヶ月前まで、「寒さ対策！」「インフルエンザ予防！」と言っていたのに・・・。1年で4つの季節が巡り、四季折々の食べ物や景色が楽しめる「美しい国」日本。しかし、気候の変化を考えると、日本は案外生活環境の厳しい国なのかもしれません。日本で生まれ育ち、既に四季の変化に体が慣れているはずの私たちにとっても、気温の変化に体を合わせるのは大変なこと。外国から来たばかりの実習生の皆さんにとっては、尚更のことです。日本語学習も、技能実習も、健康な体があってからこそ！毎年のことですが、今月から暑さ対策として、朝の健康チェック時に、定期的な水分補給・バランスのとれた栄養摂取・十分な睡眠時間の確保の呼びかけが始まっています

あじけんスコープ Vol.23 ~朝の清掃活動~



植え込みに入り込んで草をむしる実習生



中庭は竹箒で掃き掃除



最後に寮の周辺のゴミを拾いま

今回は、毎朝実習生の皆さんが当番制で行なっている「朝の清掃活動」をご紹介します。この活動は、寮の部屋毎に割り当てられた清掃当番の実習生の皆さんが、研修センターの中庭及びセンター周辺を清掃するものです。その日の当番班の人数にもよりますが、朝7時半からの約20分間行なわれています。早朝の作業なので、特に本校スタッフが監督をすることはありませんが、それでも実習生の皆さんは、本当に真面目に取り組んでいます。この活動は、割り当てられた仕事を着実に遂行する責任感、自分たちに出来ることは自分たちでやるという自立心を育てることを目的としてスタートし、今年で5年目を迎えています。

今月の実習生



薛珂（せつか）さん

今月の実習生は、中国からの実習生、薛珂（せつか）さんをご紹介します。

まずは、左の写真を見てください。ある朝、寮の周辺をジョギングしている薛さんを見かけました。女性でジョギングをする実習生は珍しいので、呼び止めて少し話をしてみると、ダイエットのために毎朝30分程度研修センター周辺を走っているとのこと。ここまでなら、それ程珍しくないのですが、薛さんが手に持っている小さいノートとペンが気になり、どうして持っているのか尋ねてみると、ジョギングをしながら、知らない単語を見かけると、それをメモして、後で辞書で調べているとのこと。

1ヶ月間という限られた講習期間内で、1つでも多くの単語を覚えようとする日本語学習に対する意気込みは、正に技能実習生の鏡です！因みに、新しい単語を見つけるため、ジョギングコースは毎日、少しずつ変えているそうです。その熱心さに、本当に頭が下がりました。薛さん、ダイエットも単語力アップも、どちらもきっと成功するはずです。「継続は力なり」。頑張ってくださいね！

あじけん流日本語授業

今月のあじけん流日本語授業は、「あいさつ」の習慣化のための取り組みをご紹介します。

まず、本校では、「あいさつ」を、技能実習生が実習現場の日本人と円滑なコミュニケーションを図っていく上で最も重要なコミュニケーションツールの1つと考えています。そして、①「よろしくお願いします」②「お疲れ様でした」③「お先に失礼します」を技能実習生にとっての3大あいさつ言葉と位置づけています。そして、これらの表現は、講師が「教える」ものではなく、実習生が「習得する」もの、つまり、自分達の力で、適切かつ自由に使いこなせるようになるべきものだと考えています。そのために、実践しているのが下の2つの取り組みです。これらの活動を通して、実習生の皆さんは、3大あいさつ言葉の意味用法を、頭ではなく、体で覚えるようになります。また、講習修了時に行なわれている修了テストでは、リスニングテスト・筆記テストどちらにもあいさつ言葉に関する出題があり、あいさつ言葉の定着を客観的にも評価しています。

活動例1：授業開始時を利用した取り組み

活動例2：終業時を利用した取り組み



授業の開始時の様子。「よろしくお願いします」の意味用法を習得するには、絶好の場面。1日8時間の授業があるので、この動作が1日で8回も繰り返されることになります。



1日の授業が終わり、先生にあいさつをして、退出する実習生の皆さん。正しく言えなかった実習生は、列の最後尾に並び直して、再チャレンジ。正しく言えるまで、帰れません！

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます